

第22回 農業高等学校生意見文全国コンクールの意見文募集について

主催 日本農業教育学会

【趣旨】

本コンクールは、農業や農業関連産業の後継者・従事者として、また農業指導者や農業に対するよりよい理解者として、わが国の農業を支えることが期待される農業高等学校生を対象に、農業および農業を取り巻く様々な環境に対する思いを意見文にまとめることにより、農業に対する意識を高めるとともに、学校生活や勉学の一層の充実を期して開催するものです。

【対象者】

日本学校農業クラブ（FFJ）に加盟する全国の農業高等学校、農業関連学科および総合高等学校に在籍する FFJ 会員の高等学校生とする。

【応募の方法】

応募期限内に、下記コンクール事務局あてに「応募用紙」および「原稿」を電子メールの添付ファイルとしてお送りください。受理後に確認の電子メールをお送りしますが、応募してから一両日中に受理確認のメールが未着の場合は再度コンクール事務局までお知らせください。

（注意事項）

1. 原稿には学校名、学科、学年および氏名（ふりがな）を明記してください。
2. 原稿はワープロソフト「Microsoft Word」で作成してください。
3. 書式は、A4 横書き、45 文字×30 行（11 ポイント）、およそ 3,000 字としてください。
4. 原稿とは別に「応募用紙」を作成してください。応募用紙には①テーマ、②応募者の氏名、③学校名、④学科、⑤学年、⑥学校の所在地（住所、電話番号、ファックス番号）、⑦ご指導の先生のお名前、⑧メールアドレスを記入してください。①～⑧の項目はもれなく記載してください。
5. 本コンクールでは個人の作品だけでなく、仲間との取り組み、共同研究による作品も認めます。ただし、仲間との取り組み、共同研究による作品を応募する際には、それぞれの役割分担や寄与がわかるように文中に必ず記載してください。

6. 本コンクールでは重複応募は認めておりません。本コンクールでの受賞作品は、全文を学会誌で公開予定です。そのため、本学会誌に掲載される著作物についての権限が学会に帰属するため、他のコンクールに著作物が重複掲載されることは認められません。しかし、他コンクールでの選考が終了し、受賞等に該当しなかったことが明らかな場合は、応募することができます。

【応募期限】

令和7年3月6日（木）必着（締め切りを延長しました）

【審査委員会】

審査委員長：小松崎将一（茨城大学）

審査員：審査委員：金澤俊成（岩手大学），長友大幸（埼玉学園大学），林典生（南九州大学），
田中大介（農研機構）

【審査について】

審査のポイントは農業高等学校生の内容としてふさわしいか、課題と内容が合致しているか、文章に論理性、説得力があるか、建設的な意見であるか、将来への希望が感じられるか、などとなります。

【表彰】

最優秀賞1件、優秀賞は3件以内を選出し、日本農業教育学会長が表彰します。受賞者には賞状および記念品を贈呈します。なお、受賞作品は日本農業教育学会誌に掲載します。

【意見文コンクール事務局】

意見文コンクール担当幹事：

〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構遺伝資源研究センター 田中大介

E-mail：dtanaka@affrc.go.jp

お問い合わせはメールにてお願いいたします。